

1/24 (木) 地域産業の担い手育成

文部科学省・経済産業省主催の「第8回キャリア教育推進連携表彰」で奨励賞を受賞した矢板高校の皆さんが市長を表敬訪問しました。総合選択制専門高校の特性を活かし、地域との連携を行いながら、地域産業の担い手育成に取り組んでいることが評価され今回の受賞となりました。

3年の山田真生さんは「この賞は、地域の方たちの協力によりいただいたもの。今後、矢板で学んだことを社会に出て活かしていきたい」と話してくれました。



1/27 (日) 栃木道を駆け抜ける

「第60回栃木県郡市町対抗駅競走大会」が開催され、選手たちは県庁から栃木市総合運動公園陸上競技場の往復コース10区間60.42kmを走り切りました。仲間たすきをつなぐため、矢板市の選手も力走し、総合で30チーム中14位の成績を収めました。

《総合結果》

往路 1時間39分18秒 19位  
 復路 1時間40分02秒 12位  
 総合 3時間19分20秒 14位



1/28 (月) おいしいイチゴをどうぞ

市役所で、JAしおのや稲澤代表理事組合長から、管内で生産されたイチゴの贈呈を受けました。これは、JAグループ栃木が一体となり、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を三本柱に掲げ、栃木県の特産品である「いちご」を県内の小・中学校給食に提供する取り組みの一環で行われたものです。

稲澤組合長は「矢板市内で生産されたイチゴを子どもたちに提供することで、食への関心・食を支える農業の役割の大切さを感じてもらえたら」と話されました。



▲(左から)  
 ・JAしおのや稲澤代表理事組合長  
 ・齋藤市長  
 ▲市内の児童生徒に、5,000粒を超えるイチゴが贈られました。

1/28 (月) 筋トレでメタボ解消!

片岡の農業者トレーニングセンターで、「筋トレ教室」が開催され、14人の方が参加しました。参加した方は、講師の(一財)日本健康財団の菊田 遼先生から、機器の正しい使い方や効果的なトレーニング方法について丁寧な説明を受けながら、実際に機器を使用しトレーニングを行いました。

参加した方からは「これほど機器が揃っているとは思わなかった。正しい使い方を学べてよかった。友人を誘って早速明日から利用したい」などの感想が聞かれました。



P.23で3月開催の教室のご案内をしています。  
**check!!**

受賞おめでとうございます

【水の郷を守る会】 子どもたちに地域資源の魅力や大切さを伝えるため、泉小・中学校と連携し、生きもの調査やマリーゴールドなどの植栽による景観形成を実施したことが高く評価され、栃木県元気な農業コンクール「いきいき農村部門農村環境保全向上の部」で優良賞を受賞しました。  
 【湧水の郷塩田環境保全会】 西小学校と連携して生きもの調査を行い、調査成果を絵や文章などで、うまくまとめたマップが高く評価され「たんぼまわりの生きものマップコンテスト」で審査員特別賞を受賞しました。



「水の郷を守る会」の皆さん  
 ▼「湧水の郷塩田環境保全会」・西小学校児童の皆さん

※市内で13の組織が、地域ぐるみで草刈りなど農村の地域資源保全活動に取り組んでおり、特に活動が顕著な2団体が表彰されました。

2/3 (日) 今年の幸せを願う

片岡公民館で「第40回コミュニティ新春講演会」が開催されました。第1部では「日本のお医者さんはがんばっています!」と題し、講師の屋代隆医師より諸外国の状況と比較した日本の医療の特徴について、笑いを交えながら講演をいただきました。

第2部では、日本デコずし協会認定マイスター川井ゆかり先生を招き、参加者と一緒に長〜い恵方巻を作りました。完成した恵方巻は、今年の恵方「東北東」を向いて、みんなでおいしくいただきました。



▲第1部講師：屋代隆医師  
 ▲参加者と恵方巻を食べる川井ゆかり先生(右)

2/5 (火) 14歳の決意

市立中学校で立志式が行われました。立志式は、昔の元服にちなみ、満14歳を迎える中学2年生が自己責任の自覚を持ち、将来への決意や目標を立てることを目的とし、大切な行事として行われているものです。片岡中学校の立志式では、生徒1人ひとりが両親や先生に向けて漢字1字で将来の目標などを堂々と発表しました。

その後の講演会では、こどもの森保育園園長の笹沼卓夫さんが「今、思うこと」と題し、何十年も経って感じる親の愛などについて熱く語っていただきました。



2/10 (日) 活躍する女性経営者たち

文化会館小ホールで「第34回やいたみんなのつどい」が開催されました。このつどいは、男女共同参画社会、すべての女性が輝く社会づくりの実現を目指すため、毎年行われているものです。

当日は「グループあい」によるワーク・ライフ・バランスについての啓発活動や「ハーモニー華」による演奏会が行われたほか、シンポジウムでは「新たな時代に向けた男女共同参画、女性活躍の推進」と題して、矢板の経済を動かす若手女性経営者の方たちの体験に基づいた意見交換が行われました。

